

令和 7 年度温排水影響調査結果＜参考資料＞ (夏季)

I．拡散調査

- 1．水温水平分布
- 2．水温鉛直分布

II．付着生物調査

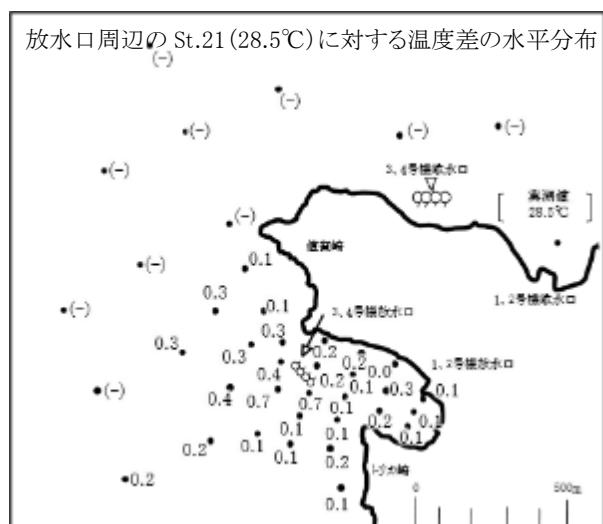
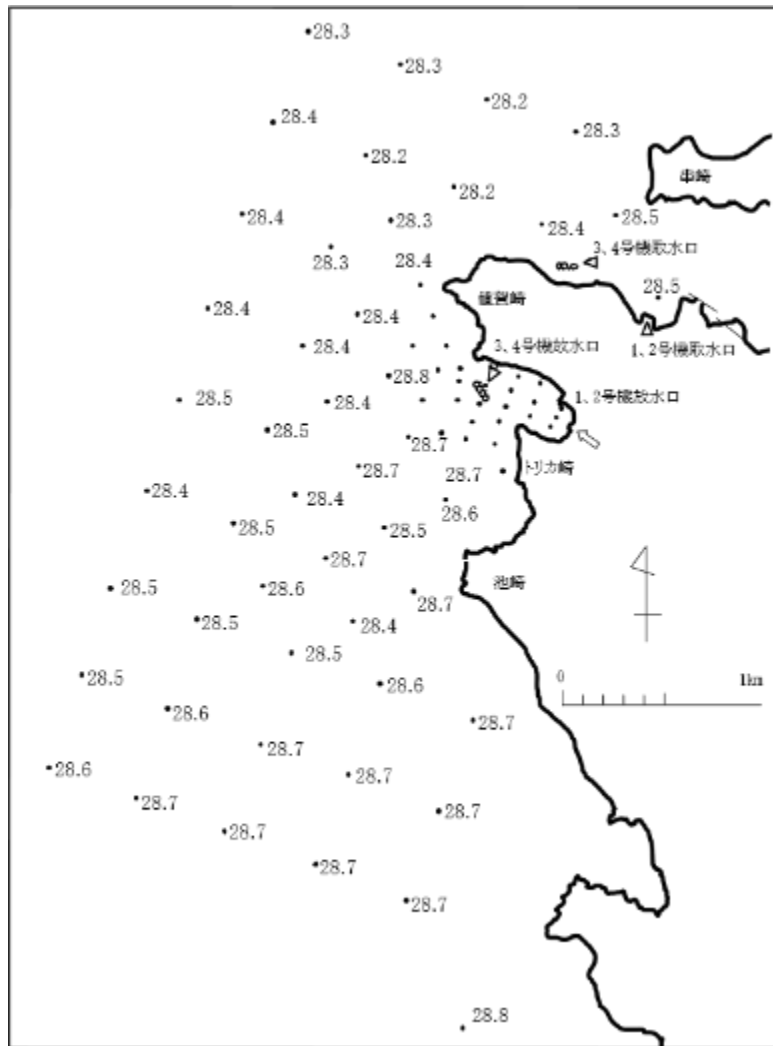
- 1．主な付着生物出現種一覧
- 2．付着生物調査結果

I. 拡散調査

1. 水温水平分布

【下げ潮時】

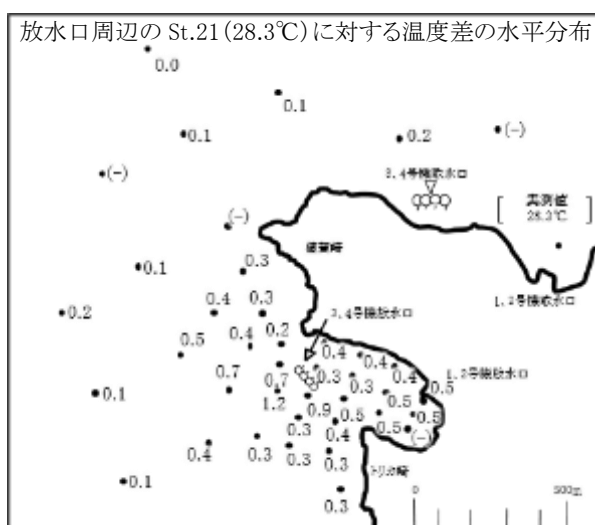
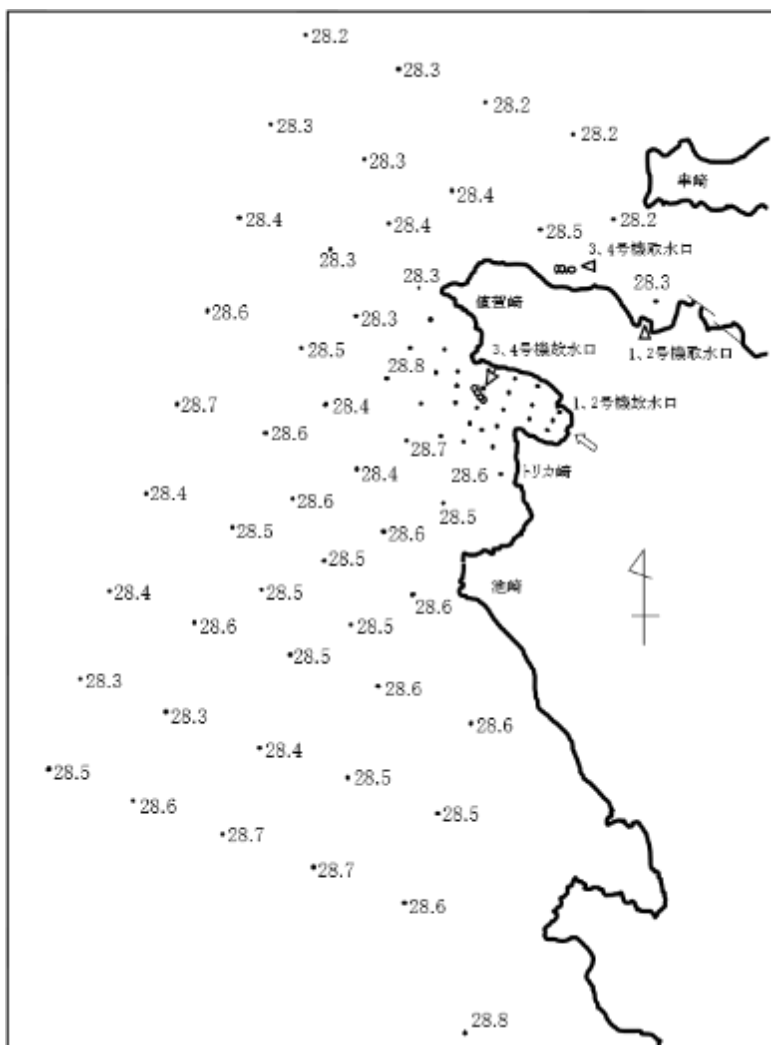
水深 1m 層の水温分布（上段）および放水口周辺の水温差分布（下段）



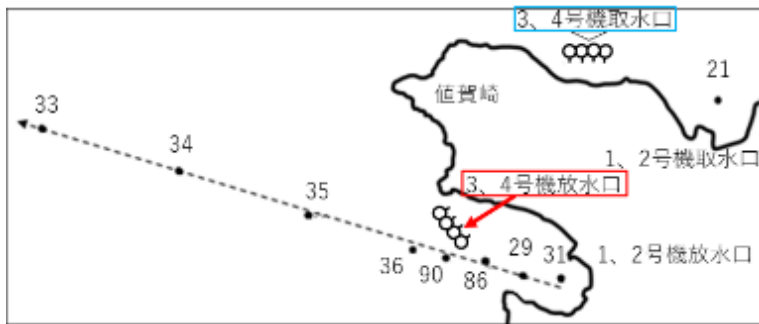
(-) : 取水口付近 (st.21) に対し、低い水温が観測された地点を示す

【上げ潮時】

水深 1m層の水温分布（上段）および放水口周辺の水温差分布（下段）



2. 水温鉛直分布

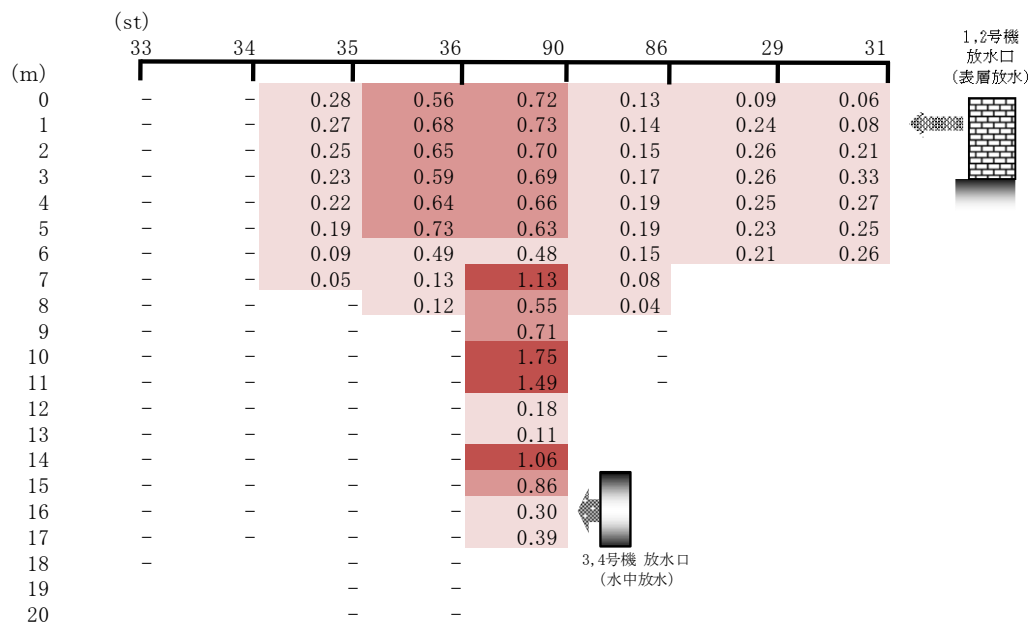


取水水温からの昇温値による色分け

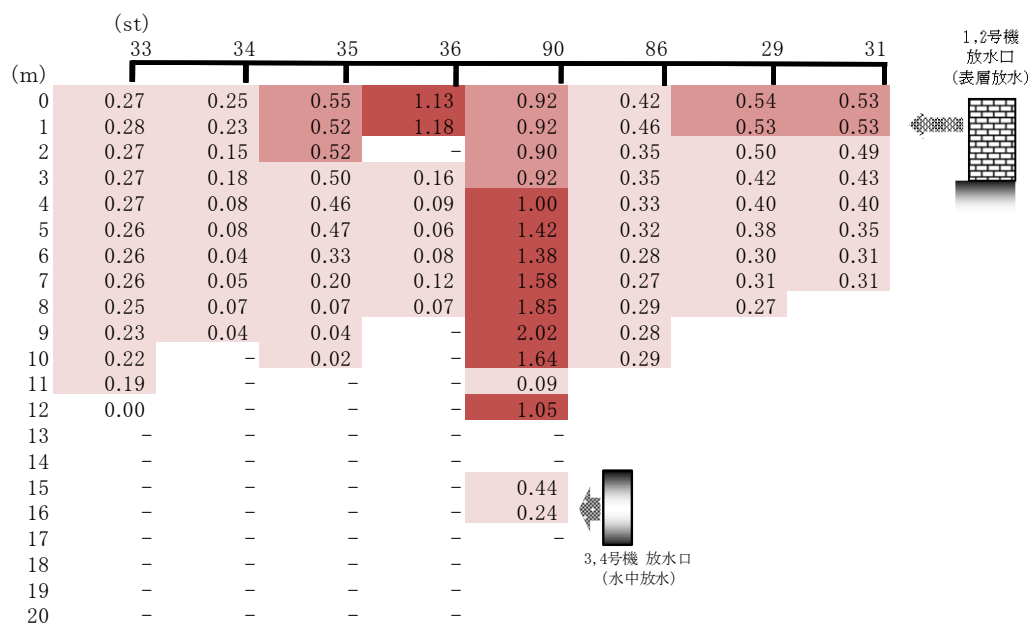
0.01未満	…	
0.01～0.50	…	
0.51～0.99	…	
1.00以上	…	

— : 取水水温に対し、低い水温が観測された地点

【下げ潮時】






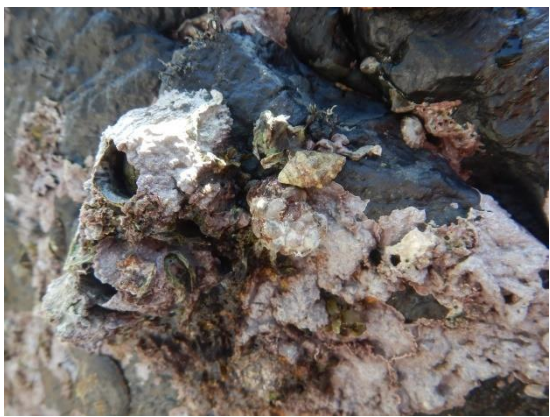


【上げ潮時】



Ⅱ. 付着生物調査

1. 主な付着生物出現種一覧

【動物】

ヒザラガイ	ヨメガカサ
	
アラレタマキビ	イボニシ
	
ムラサキインコ	ヤッコカンザシ
	

カメノテ



クロフジツボ



【植物】

イシゲ



ヒジキ



ウミトラノオ



ヒメテングサ



サビ亜科



サンゴモ亜科



2. 付着生物調査結果（夏季）

【潮間帯付近の動物】

No.	種類					調査側線									
						A-3	B-3	B-4	C-1	C-2	D-1	D-3	E-1	E-2	E-3
1	刺胞動物門	花虫綱	イソキンチャク目	タテジ'マイソキンチャク科	タテジ'マイソキンチャク									r	
					イソキンチャク目	r	r								
2	軟体動物門	ヒサ'ラカ'イ綱	ヒサ'ラカ'イ目	ヒサ'ラカ'イ科	ニシキヒサ'ラカ'イ				r		r				
					ヒサ'ラカ'イ	r	c	r	c		r	r	c	r	r
				ケハダ'ヒサ'ラカ'イ科	ケハダ'ヒサ'ラカ'イ科				r		r	r	r		
3		マキカ'イ綱	オキナエビス目	ツタノハ科	マツバ'カ'イ		r		c	r	r	c	r		
4				ツタノハ科	ヨメ'カ'サ	r			c	r	c	r	c		r
5				ユキノカサ科	ウノアシ	r			r	c			r		
6				ニシキウス'科	イシ'ダ'タミ						r	c	r		
7					クマノコ'カ'イ						r	r			
8				リュウテン科	スガ'イ				r					r	
9				アマオブ'ネ科	アマ'カ'イ						r	c		r	
10			ニナ目	タマキビ'カ'イ科	アラレ'タマキビ'	c	c	cc	cc	c	c	c	c	c	c
					コビ'トウラウス'				r						
				タマキビ'カ'イ科							r	c	r	r	
11				ムカデ'カ'イ科	オオヘビ'カ'イ			r			r		r		
12			バイ目	アケキ'カ'イ科	レイシ'カ'イ	r			r				r		
13				アケキ'カ'イ科	イボ'ニシ	r	c	c	r	r	r	r	r		c
14				エゾ'バイ科	イソ'ニナ						r	r			
15		ニマイカ'イ綱	イカ'イ目	イカ'イ科	ムラサキ'インコ	r	cc	cc	cc	r	r	r		r	r
16			ウグ'イスカ'イ目	イタボ'カ'キ科	ケカ'キ	r			cc	cc			r	r	
17			ハマグリ目	イワホリ'カ'イ科	イワホリ'カ'イ科								r		
18	環形動物門	コ'カイ綱	ケヤリ目	カンザ'シコ'カイ科	ヤッコカンザ'シ	r	r	r	r		r	r	r	r	r
19	節足動物門	甲殻綱	フシ'ツボ'目	ミョウカ'ガ'イ科	カメ'ノテ	r	c	r	c		r	r	r	c	r
20				イワフジ'ツボ'科	イワフジ'ツボ'	cc	r	r					r	r	r
21				フシ'ツボ'科	クロフジ'ツボ'	cc	cc	r	r	r			cc	r	r
22	棘皮動物門	ウ'ニ綱	ホンウ'ニ目	ナガウ'ニ科	ムラサキ'ウ'ニ	r	c	r	c						

注1:「r:極少量見られる c:少量見られる cc:普通に見られる ccc:多く見られる」

注2:「No.2、No.3、No.11」は、H10年度の調査結果と比較するため、旧分類でまとめて計上

注3:個体数として計測することが困難な種類は被度(%)で測定し、種類の欄に「(被度%)」と記載

【潮間帯付近の植物】

No.	種類				調査側線									
					A-3	B-3	B-4	C-1	C-2	D-1	D-3	E-1	E-2	E-3
1	緑藻植物門	緑藻綱	アオサ目	アオサ科	アオサ属	r	r						r	
2			ミル目	ミル科	ミル属	r		r				r		
3	褐藻植物門	同形世代綱	アミシクサ目	アミシクサ科	ウミウチワ属					r				
4					アミシクサ科							r		
5		異形世代綱	ナガマツモ目	イシケ科	イシケ	r	c	r	r	r		r	r	r
6			ハバモトキ目	コモンブクロ科	イワヒケ	r	r			r			r	
7		円胞子綱	ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヒシキ	r	r	r	c		r		r	r
8					ウミトラノオ	r	r	c	r			r	r	r
9					ホンダワラ属					r				
10	紅藻植物門	真正紅藻綱	テングサ目	テングサ科	ヒメテングサ	r	r	r	r	r	r	r	r	r
11					テングサ科	r			r	c	r	c		c
12			カクレイト目	サンゴモ科	サビ亜科	r	c	c	cc	cc	cc	r	cc	cc
13					サンゴモ亜科	c	c	r	r	c	c	c		r

注1：「r：極少量見られる c：少量見られる c c：普通に見られる c c c：多く見られる」

<凡例> 【潮間帯付近の動物】

平均個体数（個/枠）

1個未満	r
1個以上～10個未満	c
10個以上～50個未満	cc
50個以上～100個以下	ccc

平均被度（％）

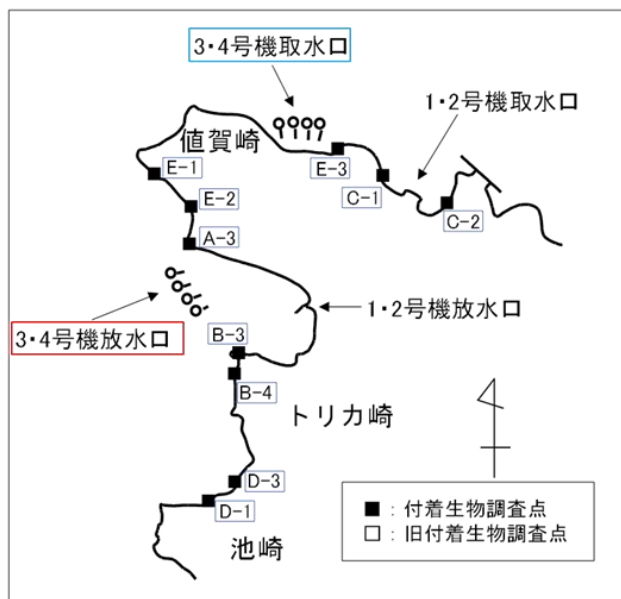
0.1％未満	r
0.1％以上～1％未満	c
1％以上～10％未満	cc
10％以上～100％以下	ccc

【潮間帯付近の植物】

平均被度（％）

1％未満	r
1％以上～5％未満	c
5％以上～20％未満	cc
20％以上～100％以下	ccc

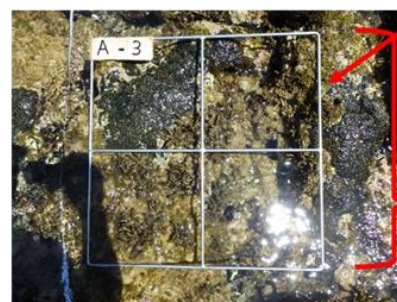
付着生物調査の概要①



【調査地点（調査ライン）】



ライン



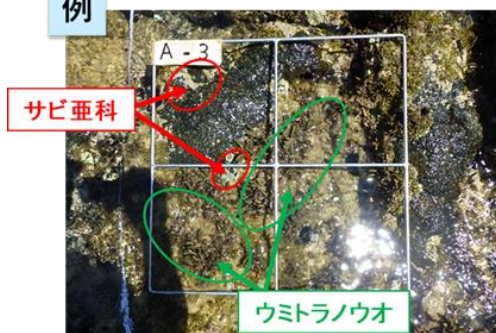
観察点
※例えば、
A-3ラインでは
全17点

50cm

岸側から海岸線までラインを引き、1.5m間隔で縦横50cmの枠内の付着生物を調査。
調査ラインは全10ライン。（最短6m、最長33m）

付着生物調査の概要②

例



【植物の出現状況】

分類	被度
褐藻植物門	ヒジキ 5%未満
	ウミトラノオ 20%
紅藻植物門	サビ亜科 10%
	サンゴモ亜科 10%
⋮	⋮

観察

平均

平均被度	区分
1%未満	r
2%	c
2%	c
1%	c
⋮	⋮

観測点毎の付着生物の
種類及び数量（個体数、
被度）を確認

被度：各生物が占める
面積の割合(%)

調査ライン上の
全ての観測点の
種類を計数

調査ライン上の全ての観
察点を平均し、出現状況
を評価

調査ラインで出現した植物：計9種

【参考：付着生物の個体数及び被度の区分】

区分		動物		植物
		平均個体数（個／枠）	平均被度（％）	平均被度（％）
r	極少量見られる	1個未満	0.1%未満	1%未満
c	少量見られる	1個以上～10個未満	0.1%以上～1%未満	1%以上～5%未満
c c	普通に見られる	10個以上～50個未満	1%以上～10%未満	5%以上～20%未満
c c c	多く見られる	50個以上～100個以下	10%以上～100%以下	20%以上～100%以下